

生徒会新聞

作成

生徒会一同

令和2年12号

11月4日(水)

挿絵 奥村・大園

意見箱「返答」

質問1 掃除用具が悲惨な状態です。生徒会の方で何とかならないでしょうか？

回答1 近日中に行われる美化委員の集まりで、話し合うようにしていただきました。掃除用具の点検で取り替えたり、ほうき用クシで埃を取り除いたりしてほしいと生徒会から頼みました。

質問2 陸上部の使用できる場所が小さいので大きくしてほしい。

回答2 現在、陸上部の使用できる場所は校舎周りの一角や、タータンコートと聞きました。確かに、場所が小さいかなと思いましたが、話を聞き、他部活との人数比などが理由でそのようなことになっていると聞きました。しかし、タータンコートもポールなどが飛んできて危ないとの事だったので、生徒指導部のほうに、柵などを設置できないでしょうかと交渉をしてきました。その結果、設置を検討していただくことになりました。

質問3 理系が必修科目として受ける「江戸から東京へ」があるのは何故でしょうか。受験科目ではないので、その分他の受験科目に力を入れた方がいいと思います。

回答3 先生に聞くと、この教科は東京だけです。世の中には日本史を学ばずに社会へ出る生徒も少なくはありません。しかし、グローバル化が進んでいく中で、果たして自国のことを学ばずに出てきて不意に海外の人に「日本はどんな国なんだい？」と聞かれても答えられないのはどうなのかというのがあふらしいです。

そして、個人の考えなのですが、日本の学歴社会の影響が勉強の本質を雲隠れさせていると思います。本来勉強は先人たちの教え、過ちを学ぶことで、「いかに自分がよりよく生きていくか。」だと思っています。しかし日本の社会が学歴を求めることで、受験科目外だからといって捨ててしまっていることもあると思います。質問者様だけがいうわけではなく、私も世の中の学生も。

話がそれましたが、数学を学ぶのは論理的思考を育むため、理科を学ぶのは周りの生活に活用ができるため。そして何より歴史を学ぶことは、この国、日本が出来てきたのはどういう経緯があったのかというのを知ることができるということです。例えば、日本は戦争により、たくさんの方を失い、多くの被害をもたらしてしまいました。決して繰り返してはいけないことです。では、これはなぜ起きたのでしょうか。それを学ぶ機会になり、再び過ちを犯さないようにすることが出来ます。他にも、制度の移り変わり、文化などを知る機会にもなります。私自身覚えるのは苦手ですが、「知見を広げられることは楽しいな。」と感じています。

ここで話したことは、面倒くさいと思いますが、このようなことを、大人の人たちは生徒の皆に期待しているのを知っておいてほしいです。最後に、「私たちが勉強できる環境下にあるのはなぜか。」是非友人と話してみてください。

意見、ありがとうございました。このように質問を回答していきたいと思うので、皆さんどしどし、2階生徒会室前にある意見箱に意見または質問をお願いします。皆さんの意見、お待ちしております！